

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

社員・協力会社と連携し、環境対応方塗料の選定など、「地域環境への負担の低減」・「健康的な生活の確保」を通じてSDGsが目指す持続可能な社会の実現に向けて貢献します。
また塗装工事を通じた価値の創造と社会課題の解決をSDGsの理念のもと取り組みます。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	使用塗料についてはリスクアセスメントを導入し、作業員等の健康に配慮する。 安全データシート等で品質を確認する。	労働災害 2023年0人→2026年0人
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	多様な人材が活躍できる場として、外国人技能実習生の受け入れを行う。	外国人技能実習生の雇用 2023年0名→2026年までに2名
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	ペーパーレス・省資源化に向けて、事務所・現場におけるDX化を目指す。	ペーパー購入量 2026年50%減少(2023年度比)

<パートナーシップ>

塗料の製造会社・販売店と自社と連携し、環境に配慮した塗料・施工方法などを検討し、所属団体等とも情報交換をして、働きやすく事故のない環境を構築する。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	・使用塗料の水性化・社員の健康環境への配慮 水性塗料の使用を実施。現場により使用不可の場合が多く実績は伸び悩んだ。	10%を40%へ	2023年 20%
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	・工事現場にて発生する廃棄物の管理の徹底と低減化 看板の設置により仕訳を徹底。廃棄物量は大幅な減にはならなかったが、20%削減は達成した。	現在の廃棄量から20%削減	2023年 20%
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	・多機能型・高機能型等の使用により社会インフラの橋梁・建築物の高寿命化を目指す。 目標の年に1回の検討会は実施できた。	工事施工の品質向上・経年の調査、分析、年1回の検討会の実施	2023年 1回

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。